

1学期 明るい子(交わりの参加する生活)

第1期(4月~5月) 期題「たのしいこどものもり」

字体が違うところは各コーナー、クラスのエピソードです

2017.6.9

No.34-2

*新しい社会への不安よりもこども園で友だちと遊んだり、発見したりすることへの喜びを味わい、生活意欲が育つ。

造形のコーナー: 新しい環境に不安やドキドキでいっぱいだった子たちも、年中児や年長児に優しくエスコートされ、何を作るか相談したり作り方・道具の使い方を教えてもらったりしながら製作に取りくむ姿が見られるようになりました。空き箱製作や粘土遊び、季節に合わせたちょうちょ作り・こいのぼり作りなどに親しみ、次第に「こんな風になりたい!」「こうしてみたい!」と自分の思いで製作を進めることができるようになってきています。また、進級した子どもたちも、昨年度まで培ってきた経験と、身のまわりに起きる様々なことを新鮮に受け取ることのできる豊かな感性をフルに使って、

子どもたちは、身のまわりのさまざまなことに興味を持ちます。子どもたちが日々積み重ねていっている多様な経験を製作に活かしていくと共に、様々な素材に触れたり、色々な道具を使ったりしながら、自分の身体と感性を使ってモノ作りをするこの面白さを味わうことができるよう、見守っていきます。

造形のコーナー...先日こどものもりの畑に、花まつりのおき家族と種を植えた様々な野菜の植え替えをした子どもたち。たくさん自然に触れたあとは、製作の部屋でも「自分の畑を作りたい!!」と大張り切りでした。「私の畑には何を植えようかなあ〜」「あっ、ちょうどいいのがあった!」「こどものもりにもある果物を植えよう」となど、お話を楽しみながら自分だけの畑を作ることを楽しんでいました。年長児さんは特に経験したことを次のあそびにつなげていく力をつけてきています。

クッキングのコーナー: 入園当初は不安な表情を見せていた新しい子どもたちもおいしそうなおいがる〜と、先輩の年中長児と手を繋いで来てくれるようになりました。4月は、よもぎを使ったよもぎ団子作り、夏みかんを収穫してジャムやゼリー作り、皆で掘ったばかりのこは筑前煮や皮に梅干しを挟んだ梅干しちゅっちゅにして皮を吸いながら少しずつ赤く変化していく面白さやおいしさを経験した子どもたちです。5月に入ると真っ赤に実ったさくらんぼを一粒一粒丁寧に摘み、リッツやゼリーで味わいました。5月下旬からは梅が落ち始め、「いっぱい拾ったよ」と、カゴいっぱいの梅を使った梅ジャム作りが始まりました。梅ジャムをのせたリッツは「酸っぱい」「元気がでる」など沢山の子どもが味わいに来てくれる人気のメニューです。新入児も今では年長児に教えてもらいながらお手伝いも張り切ってやってくれています。今後も四季折々の食材を使って子どもたちとメニューを考えて味わっていききたいと思います。

クッキングコーナー...さくらんぼゼリーを一生懸命に食べていた1歳児。スプーンですくうのは難しく手で食べていると2歳児こすもすさんが「あ〜ん」と、食べさせてあげました。「おいしい?」と声をかけてあげたり最後はタオルで口もふいてあげている姿は保育者のようで誇らしかったです。保育者の様子をよ〜く見ていて真似して覚えていくんですね。



外あそびのコーナー: 新入の子たちが登園してくると、園庭でも年長組さんが手を繋いで園内を案内していたり、一緒に砂場や遊具などで遊んでくれていました。4月中旬には大きなこいのぼりが揚がりました。「やねより〜」の音楽が流れると毎日沢山の子どもたちがお手伝いに来たり、自分で作ったこいのぼりを揚げることで、嬉しそうに空を見上げる姿がありました。5月に入り、砂場では泥団子作りがスタート!手の平や指先で砂の感触を確かめながら、じっくりと集中して行うことで固いお団子ができると知った子どもたち。これからも子どもの興味や発見の心を大切にしていきたいです。そして5月下旬からはバスバイクで親子一緒に行ったスタンプラリーごっこが園内でも始まりました。各ポイントのヒントの写真を見ながら友だちと相談し、スタンプングを楽しんでいます。ルールのある遊びとしては前年度に引き続き「転がしドッチボール」が盛り上がっています。これから年齢に関係なく思いきり体を動かしながら、ルールのある遊びを経験していけたらと思います。

外あそびのコーナー...スタンプラリーの準備をしていると、「スタンプラリーが始まったの?準備手伝うよ!」という声が。ポイントの準備では「昨日は①ポイントが〇〇だったから、今日は△△にしよう?」「じゃあポイントの場所に置いてくるね!」と意欲満々の年長組さん。スタンプラリーが始まると、「一緒にやろう?」「②ポイントはこっちだよ!」と年下の子に声を掛けてくれています。このスタンプラリーを通じて、「自ら考えて行動する力」や「年下の子に優しく接しする思いやりの気持ち」などが育っています。



ごっこのコーナー: 4月、おままごとコーナーには、素敵なドレスに目を輝かせておしゃれをしたり、お料理を楽しんだり、笑顔いっぱいの子もたち!何をして遊ぼうかな...お姉さんが居ないと不安だな...という新しいお友だちの姿もありましたが、お兄さんお姉さんが遊びに誘ってくれたり、電車の線路の繋ぎ方やパズルのやり方のお手本を見せながらお手伝いしてくれたりで大活躍!そのおかげで笑顔で楽しむ姿が増えてきました。遊びの中で、物の貸し借りをめぐってトラブルになる姿がありますが、自分の思いを言葉で伝えることや相手の気持ちに気付くことができるようになる場面でもあります。その都度寄り添い、子どもたちが自分で考えられるよう関わることを大切にしています。また、上手な片付け方が難しい姿もありますが、物を大切に使うことや丁寧に片付けておけると気持ちが良いこと、次の人も使いやすいことなども伝えていき、身に付けていけることを願っています。



表現コーナー...大型積木ですみれさんを中心に大きなものを作り始めました。出来上がったのは「バス」+「バイ」=バスバイク!かなり大きい乗り物です。その言葉を聞いたすみれさんの1人が「なんかバスバイクみたい!」と。そしてそのうちに「大型バスに乗ってます〜♪」と歌も飛び出し子どもたちの力作「バスバイク」の中では「スタンプラリー楽しみだね」「お弁当も持っていくなだよ」「バスバイク早く行きたいな〜」と楽しい会話が繰り広げられていました。

ごっこのコーナー...新入の女の子が「どのドレスがいいかな」と迷っていると、「これがいいんじゃない?」とコーディネートしてくれたのは年長のお姉さん。さらに、鏡の前で丁寧に髪をとかし、上手に三つ編みをしてくれていました。優しくしてもらった子はきっとその経験が心に刻まれ、また他の子にも優しく接しようとする心が育まれていくのでしょうね。

表現のコーナー: ウッディークリックで車や農場を作り、まるでお家にいるかのようにゆったり遊んだり、ひのきプレートでドミノをしたり、ナチュラル積み木をどこまで高く積み上げられるか挑戦したりとそれぞれ好きな遊びを見つけて楽しんでいます。5月に入ると大型積木で迷路を作ったり、お

家や車を作ってごっこ遊びを楽しむ姿も見られています。こすもすぐみさんやさくらぐみさんたちもお兄さんお姉さんたちの姿を見ながら大きな積木を運んだり、並べた積木の上を歩いたりして楽しんでいます。外でのダンスコーナーでは音楽に合わせて体を動かしたり、楽器を鳴らしたりして楽しむ可愛いちゅうりっぷ・こすもすぐみさんの姿や「〇〇がいい!」「次は〇〇!」と踊りたい曲を選び、笑顔いっぱい踊っているたんぼほぐみさんの姿も♪特に昨年のコンサート曲が人気です!これから雨の日が多くなる季節になりますが、テラスなどに楽器やCDデッキを用意し、体を動かして楽しんでいきたいです。



自然のコーナー: 自然いっぱいのこどものもりで、たくさんの草花を遊びに取り入れ、楽しんでいます。草花クッキングでは、包丁やおたまなどを使い、食べ物などに見立てて遊んでいます。ちゅうりっぷぐみさんからすみれぐみさんまで一緒になって、上の子が包丁を使っているのを見て、下の子が挑戦していたり、ごっこ遊びを楽しんでいたりとしています。その他にも、楢のネックレス作り、つつじのフラワーアレンジメント、八重桜やスモークツリーを描いた絵に貼り、素敵な絵もできました!また、園庭での虫探しも盛んです!虫かごを手に持ち、沢山の虫を捕まえて楽しんでいます。夏野菜のきゅうりやなすなどもみんなで畑に植えました。花まつりの時に種まきをしたインゲンや枝豆も芽が出て大きくなっています。また、畑には澤田さんからのトマトの苗も子どもたちが世話をし、緑の実が大きくなってきて、収穫を楽しみにしています。これからも自然との出会いを大切にしていきたいです。



自然のコーナー...年齢を超えて大好きな草花クッキングでは、園にある草花を使って上手にクッキングをしています!お母さんごっこをしたり、ウエイトレスさんになったりごっこ遊びも様々です。お水大好きな小さい子たちは水やり当番のすみれさんを見て「私(僕)もやりたい!」とお花に小さなジョウロでお水をあげながら、「おなかいっぱい?!」とお花に声をかけています。これからも自然とのかかわりを大切にしていきたいです。